EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

56065739

PUBLICATION DATE

03-06-81

APPLICATION DATE

31-10-79

APPLICATION NUMBER

54141114

APPLICANT: RICOH CO LTD;

INVENTOR :

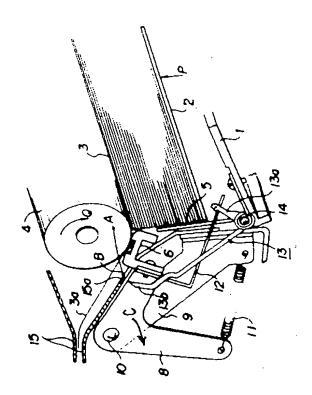
YOSHIHARA HISAO;

IINT.CL.

B65H 3/52 B65H 3/06 // G03G 15/00

TITLE

PAPER FEEDER



ABSTRACT :

PURPOSE: To prevent a paper sheet from being pinched by a friction pad and a feed roller by such a construction that pressure contact of the friction pad to the feed roller is released in linkage with the movable bottom plate placed in the paper feed tray.

CONSTITUTION: To supply copying paper 3, the bottom plate 2 is pressed downward, opposite direction to the arrow P. As the result, the tip of extension arm 12 to a pad lever 8 is pressed down by the bottom plate 2, and the pad lever 8 turns in the direction of the arrow C to set the friction pad 6 free from the paper feed roller 4. At the same time, an arm 13a of a paper return lever 13 is pressed down by the bottom plate 2 turn an arm 13b of the paper return lever 13 in the direction of the arrow A. Accordingly, the copying paper sheet being pinched by the friction pad 6 and paper feed roller 4 since the foregoing paper feeding is released owing to moving-back of the friction pad 6 and turned back into the paper feed tray 1 by the paper return lever 13.

COPYRIGHT: (C)1981, JPO& Japio



① 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭56--65739

60Int. Cl.3 B 65 H 3/52

識別記号

砂公開 昭和56年(1981)6月3日

3/06

6657-3F 6657 - 3F6805 - 211

庁内整理番号

発明の数

#G 03 G 15/00

109

審查請求 未請求

(全 3 頁)

匈給紙装置

29出

昭54-141114 ②特

昭54(1979)10月31日

吉原久雄 者 伽発 明

東京都大田区中馬込1丁目3番

6号株式会社リコー内

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番

6号

人 弁理士 伊東貞雄

」発明の名称

船瓶装置

2特許請求の範囲

横乗わた紙を粘紙ローラーに向つて押上げる 底板を備えた粘紙トレイと、前記粉紙ローラー に向つて圧接し、その原接力によって2枚以上 の紙が同時に繰出されることを開止するフリク ションパッドとを備えた粘紙装置において、前 記プリクションパンドを支持する部材を、前記 **選板の下降に運動して、非作動状態にさせると** 共に、常時は機出される紙の通路外に退避して おり、前記庭板の下降に運動して診漏路内に侵 人し、簡韶フリクションパラドで拘束されてい た概分船紙トレイ内に押戻す紙戻しレバーを設 けたことを畅放とする船紙装置。

3 発明の詳細な説明

本発明は、複写物の給板装飾の改良に関する ものである。

第1回は、従来の給紙技術を示すものである。

1 は約組トレイであつて、底板 2 を備えその上 にコピー用紙3が積層 載醒されている。底板2 は粉紙トレイン内において矢印Pで示す付券力 を受けて上動し、コピー用紙3を鉛紙ローラー 4に押付けている。5は粉紙トレイ1の先端線 に固定された当て板であつて、コピー用紙3の 先端禄を揃えるためのものである。6はフリク ションパッドであつて、ホルダーフに保持され て粉紙ローラー4に圧接している。

始紙ローラー 4 を矢印 Q,方向に回転させると、 給紙トレイュ内のコピー用紙3の転上層のもの が船板ローラー4の摩擦力により矢印Rで示す ように1枚だけ縦出される。その蝶2枚目以下 のコピー用紙が最上層のものと一緒に確出され ようとするが、これは、フリクションパッドの との間の離構力によって阻止される。

ところで、前記給紙装置において、 船紙トレ イ1内のコピー用紙3を使い切らないうちに折 しいコピー用紙を補給するとか、 別の 種類のコ ピー用紙を供給しようとする場合には、 座板 2

特開昭56- 65739(2)

を図示しない 神橋により押下げて、その上に指載されているコピー用紙3の上に新しいコピー用紙3の上に新しいコピー用紙の際に、フリクンヨンパッド6によつて繰出した関止されたコピー用紙があると、それがフリクションパッド6と給紙ローラー4とによつて挟持されているため、新しいコピー用紙を給紙トレイ1に正しく整塡するととが妨げられる。

本発明は、前記の問題点を解消することを目的とするものであつて、 給紙トレイへの紙の補給操作と連動して、フリクションパッドで拘束されている紙を給紙トレイ内へ戻すようにしたものである。

次に本発明を第2図及び第3図に示す実施例によって説明する。1は給紙トレイであって、 矢印ア方向に付勢された底板2を幅え、その上 に積載されたコピー用紙3が当て板5によって 先端線を揃えられつつ、その及上層のものを給 紙ローラー4に圧接していることは、前記従来 のものと間様である。

(3)

コピー用机3の補給、交換を行なう際には、 図示しない機構により底板2を付勢力に抗して 矢印上の逆向きに圧下する。その結果、パッド レバー8の延長腕12の先端部が底板2によっ て圧下され、第3図に示すよりに、パッドレバ 8はフレームのだ軸10で据支されたパッドレバーであつて、2欠状に形成され、その一方の腕の自用端にフリクションパッドをが固定されている。他方の腕とフレームのとの関だは、スプリング11が緩散してもり、前記フリクションパッドのはとのスプリング11の一般がパードの延及腕であつて、フリクションパンドのもの延及腕であって、フリクションパンドには出紙トレイ1内に延びており、底板2の難様に対向している。

(4)

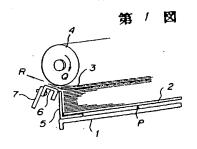
ー8が矢印で方向に回物し、フリクションパンドでが絵紙ローラー4から雅れる。同時に、紙戻しレパー13の駒 13a が底板 2 によつて圧圧 6 たれ、紙戻しレパー13の腕 前向の名 経時にカフに回動させる。したがつて、前向の名 経時にカフリクションパンド 6 と給紙ローラー 4 とで独特されていたコピー用紙は、フリクションパンド 6 の後退により拘束を解かれると共に、紙戻したの後退により拘束を解かれると共に、紙戻される。

新しいコピー用紙の補給が完了し底板 2 が再びコピー用紙 3 を給紙ローラー 4 に向って押上げると、パッドレバー 8 及び紙原しレバー 3 3 は再び第 2 図の状態に戻り、動作可能状態になる

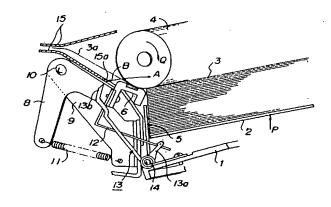
特開昭56- 65739(3)

に紙が挟持されたままだなくということがない。 そして、紙戻しレバーが直に成まの下降に運動 して、フリクションバッドによる拘束を解かれ た紙を絵紙トレイ内に加しまって、それが横重 ねた紙の場上層にロリーととに適給する紙の、 そのよべの横重ねをひりまた。とがない。

4. 図面の簡単な説明



第2 図



第3図

